

市議会だより

No.219

令和2年11月10日発行

編集／発行

福井市議会だより編集委員会

福井市大手3丁目10番1号

TEL.0776-20-5506



福いいネ!

いまの時代、自分からアピールしなきゃ!



定例会

(8月31日～9月24日)

市長提出の議案17件、報告12件を
審議しました

主な議案は4～5ページ
審議結果は14～15ページ

陳情1件を審議しました

審議結果は15ページ

議員提出の議案3件を審議しました

審議結果は15ページ

議員22人が一般質問を行いました

詳細は7～12ページ

委員会審査

詳細は5～6ページ

予算特別委員会

詳細は12～14ページ

特集記事

● 予算特別委員会をご紹介します
……………2・3ページ

↑ **福井をアピール「福いいネ！」**

北陸新幹線福井開業後の観光誘客を目指し、
福井市の認知度向上を図るため「福いいネ！」
のイメージロゴが発表されました。

この趣旨に賛同した市議らでイメージロゴを
プリントしたポロシャツを9月定例会で着用し、
率先してPRを行いました。

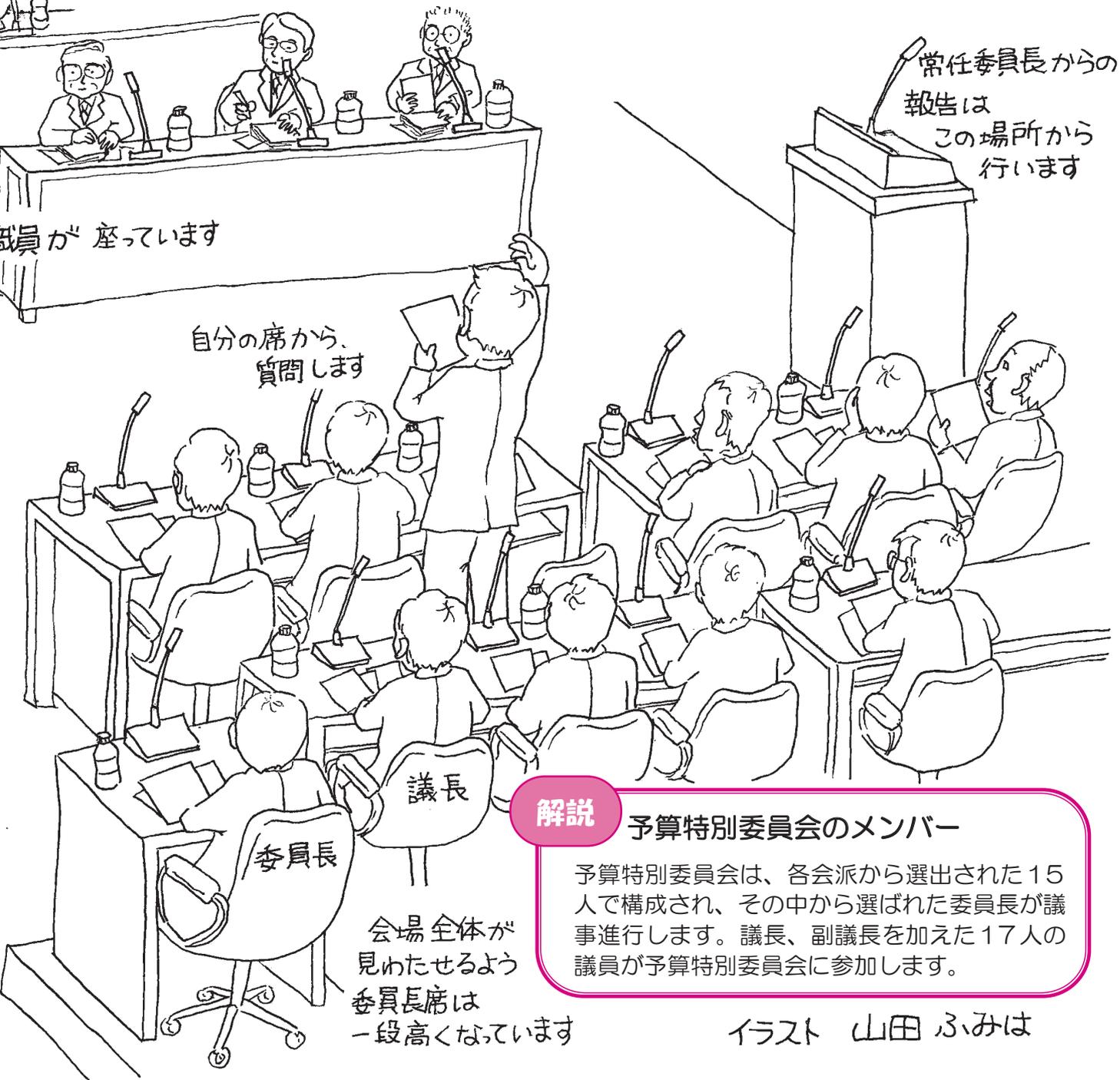
予算特別委員会をご紹介します

市役所8階の、全員協議会室で行われます

(令和2年9月定例会では新型コロナウイルス感染症対策のため議場で開催されました)



予算特別委員会では、市民のくらしを支える制度やインフラ整備などを行うための予算案について、各常任委員会（総務・建設・教育民生・経済企業）からの報告を踏まえて話し合います。また市政の色々な問題についても幅広く議論します。



解説

予算特別委員会のメンバー

予算特別委員会は、各会派から選出された15人で構成され、その中から選ばれた委員長が議事進行します。議長、副議長を加えた17人の議員が予算特別委員会に参加します。

会場全体が見わたせるよう
委員長席は一段高くなっています

イラスト 山田 ふみは

解説

家でも議会を見ることができる！

予算特別委員会の様子は、ケーブルテレビで生中継、録画放送しています。またインターネットでも録画放送しています。議会のホームページでは委員会記録も見ることができます。

答弁者 あと 28分	質問者 あと 16分
------------------	------------------

質問の残り時間が表示されています

全員の机の上に「ふくいのおもてな水」のペットボトルが置かれています

質問に応じた資料を部長たちに届けるために各部署の調整参事が後方に待機しています



解説

予算特別委員会での質問

予算特別委員会は2日間行われ、会派ごとに質問時間が決まっています。委員1人あたり2日で14分が割り振られます。つまり委員が2人の会派なら28分、6人の会派なら84分となります。1日目の残り時間は翌日に繰り越されます。一問一答方式で行われるため、白熱した議論が交わされます。

市長・副市長はじめ 市の幹部職員

全員の席にマイクがあります



この図の左側に、記者席・傍聴席があります。ぜひ委員会の傍聴にお越しください。



副議長

委員の後方では議会事務局の職員が会議の運営を補助しています

特別委員会の委員を選任しました

委員会名	委員名						○委員長	○副委員長
予算特別委員会	◎水島 秀晃	○津田かおり	石丸 浜夫	堀川 秀樹	野嶋 祐記			
	玉村 正人	藤田 諭	泉 和弥	池上 優徳	近藤 實			
	寺島 恭也	榊原 光賀	山田 文葉	酒井 良樹	岩佐 武彦			
	調査項目 各会計当初予算、補正予算の審査及び市政上の重要案件							
決算特別委員会	◎青木 幹雄	○加藤 貞信	奥島 光晴	鈴木 正樹	玉村 正人			
	菅生 敬一	福野 大輔	池上 優徳	酒井 良樹	岩佐 武彦			
	調査項目 各会計決算等の審査							

主な議案

今回議決した主な議案等は次のとおりです。議案等の審議結果は、14～15ページに掲載しています。

9月定例会

令和2年度補正予算

今回の補正予算は、一般会計で10億1,734万4千円を増額するものです。また、特別会計では中央卸売市場特別会計で7万3千円を増額、企業会計では水道事業会計で27万8千円を減額するものです。各会計の補正後の予算額は、一般会計で1,459億4,916万6千円、特別会計で775億3,054万円、企業会計で280億6,972万2千円となり、全会計で2,515億4,942万8千円となります。

一般会計補正予算

〈新型コロナウイルス感染症対応に関する事業〉

新型コロナウイルス感染症の対応に関する次の5項目の事業に、10億7,690万9千円を計上するものです。

(1) 感染拡大防止の強化

感染症対策のため、保育園等が備品等を購入する際に要する経費を補助する「保育施設等感染症対策事業」、冬期間のインフルエンザ流行期における発熱患者への診療体制に万全を期すため、ドライブスルーなどによる問診や検査体制の確立に必要な環境整備を行う「休日急患センター感染症対策事業」などを行うものです。

(2) 安全・安心な市民生活の確保

感染症の影響により利用者が大幅に減少した地域鉄道・路線バスの運行業者に対し、安定運行維持のための経営支援と、利用回復に向けた環境整備の支援を行う「地域公共交通緊急支援事業」、感染症対策として避難所を小学校体育館に変更したことに伴い、今後の寒さ対策のためにエマージェンシーブランケットを追加配備する「避難所感染症対策備蓄品整備事業」などを行うものです。

(3) 地域経済への支援

福井の食を代表する越前ガ二のシーズンに合わせ、お得な宿泊クーポンを発行し、観光誘客の拡大を図る「おいしい福井の冬・お泊りキャンペーン事業」、感染症が拡大する中で、解雇による失業者の増大が懸念されることから、雇用の安定を図るため奨励金を交付する「失業者正規雇用緊急奨励事業」などを行うものです。

(4) 学習環境の充実

小・中学校における衛生環境の改善を図るため、トイレの洋式化及び手洗い場の増設を行う「学校衛生環境改善事業」、修学旅行をやむを得ず中止した場合に生じるキャンセル料を補填する「修学旅行キャンセル料補助事業」などを行うものです。

(5) 新しい生活様式への対応

市役所の庁内外でリモート会議を行える環境を整備する「リモート会議環境整備事業」、市民が安全・安心な状況で文化芸術に触れることができるよう活動を支援する「文化芸術活動支援事業」などを行うものです。

〈中止・縮減事業〉

新型コロナウイルス感染症対策の事業費に充てるため、議会経費を2,175万7千円、市長など常勤の特別職の令和2年12月期末手当を139万3千円、その他122件の事業の中止・縮減により3億17万1千円、合計で3億2,332万1千円を減額するものです。

〈国・県の補助金等に伴う事業〉

北陸新幹線福井開業に向けて、まちなかの市民の憩いの場である足羽山公園内の環境を整備する「足羽山魅力向上事業」などに、7,400万円を計上するものです。

〈各種施策を推進するための取組〉

避難情報を速やかに発信し、市民に迅速な避難行動を促すため、市の防災行政無線と県災害情報インターネットシステムを連携させる「防災行政無線連携事業」などに、1億8,975万6千円を計上するものです。

中央卸売市場特別会計補正予算

新型コロナウイルス感染症の影響により、市場事業者等の

経営環境が厳しくなる中、事業者等で構成する福井市中央卸売市場協会に対して給付金を支給する「市場応援給付金事業」に7万3千円を計上するものです。

○水道事業会計補正予算

新型コロナウイルス感染症対策の事業費に充てるため、企業管理者の令和2年12月期末手当を27万8千円減額するものです。

条例

○市長等の期末手当の特例に関する条例の制定について

新型コロナウイルス感染症拡大で市民生活や地域経済に影響が出ていることに鑑み、市長等の令和2年12月期末手当を減ずる措置を講ずるものです。

○福井市美山森林温泉みらくる亭の設置及び管理に関する条例の廃止について

福井市美山森林温泉みらくる亭の民営化を進めるため、施設の設置及び管理に関する条例を廃止するものです。

○福井市文化会館の設置及び管理に関する条例及び福井市文化会館駐車場条例の廃止について

老朽化が進んでいる福井市文化会館を令和2年度末で廃止するとともに、併せて文化会館駐車場を廃止するものです。

市会案（議員提出議案）

地方自治法第99条の規定により、次の意見書を内閣総理大臣ほか、関係機関に提出しました。

○地方財政の充実・強化を求める意見書

○防災・減災、国土強靱化対策の強化及び推進を求める意見書

○新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書

人事案件

○人権擁護委員

本年12月31日をもって任期満了となる6名の委員を引き続き同委員候補者として推薦することに意見を求められ、異議がない旨を答申しました。

委員会審査

各委員会の委員長報告から、主な質疑等の要旨を紹介いたします。
(委員会終了順に掲載)

新型コロナウイルス等影響対策特別委員会

《第2波に備えた感染予防策について》

問 いわゆる夜の街の特定の業種の方に対象を絞って、定期的にPCR検査を受けてもらう体制を整備するなど、検査機会を多く設けることでクラスターの発生を抑制できるのではないかと。

答 本市では感染の疑いがある場合や検査が必要であると医師が判断した場合、その対象者や濃厚接触者だけでなく、少しでも感染のおそれがある接触者全てに対して検査を実施している。特定の地域に絞っての不安解消のための検査も重要とは考えるが、検査で陰性の結果を得たとしても将来の陰性を確保するものではなく、また、医療従事者の負担増加が懸念されることから、現在は感染拡大防止のための検査に注力している。

問 手洗いとマスクの着用による感染防止を引き続き周知していくとのことだが、文部科学省は子どものマスクに関して、これまでの「基本的に常時着用」を見直し、熱中症対策を優先する方針であるとの報道があった。再開した小・中学校では、感染症及び熱中症対策をどのように行っているのか。

答 本市ではこれまで、基本的に常時着用としながら、熱中症等の健康被害が発生する可能性が高まる場合などにマスクを外すこととしていたが、国の方針変更に合わせて、身体的距離が十分に確保できない場合は着用を必要としない取扱いとすよう各学校に依頼した。今年は夏休みが短縮されたことで、熱中症の危険は例年以上であると認識しているため、マスクの対応に加え、健康観察や環境条件に応じた活動内容の検討など熱中症対策を最優先に考えていきたい。

問 感染者の中には退院後に息苦しさなどの後遺症が続く方もいると聞けが、本市においてはどのような状況なのか。また、退院後の健康状態について追跡調査は行っているのか。

答 後遺症には息苦しさや倦怠感、疲労感等があるとされている。本市では感染者に対して退院後4週間の健康観察を行っており、一部の方から体力や筋力の低下、喉の違和感等の訴えはあったが、その後改善したため後遺症が続いたといった方は今のところ出ていない。

建設委員会

《道路照明LED化事業》

問 市内に3,270基ある道路照明のうち、今年度、1,284基をLED灯に取り替えるとのことだが、残りの道路照明についても、今後、計画的に取り替えていくのか。

答 現在、既にLED灯となっているものが184基ある。今回の事業では、水銀ランプが国際条約により来年から製造や輸出入が禁止となることから、これを使用している1,284基の道路照

明について取り替えを行う。残りの蛍光灯や白熱灯などの道路照明については、引き続き使用可能であるため、このまま使用していくこととするが、今回のような有利な地方債の有無など財源の調査を今後進めながら、取り替えを検討していきたい。

総務委員会

《国庫支出金》

問 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金は、本市にどれくらい配分されるのか。

答 地方創生臨時交付金の内示額は、1次分と2次分を合わせて約30億円であり、6月に1次分の実施計画、約15億円を申請している。残りについては、今回提出している9月補正予算や今後のコロナ対策分を加味し、9月末に2次分も合わせ約30億円の計画を提出する予定である。

問 新型コロナウイルス対策への新たな財源が必要となることも予測されるが、その備えとして交付金を充てることはできないのか。

答 地方創生臨時交付金の内示額約30億円のうち、第1次計画分を差し引いた残りの約15億円については、今後のコロナ対策も含めた活用を考えていく。

《財産の取得(高規格救急車)》

問 契約の相手方は自動車販売業者となっているが、積載する医療機器も含めて、当該事業者と契約を行うことになるのか。

答 救急車の購入に当たっては、車両と医療機器を一括で入札しており、落札者である自動車販売業者とは、車両のみならず積載する医療機器も含めて契約を行うことになる。

問 医薬品や医療機器を販売するためには、法律上、許可が必要となるが、契約の相手方となる自動車販売業者は、この許可を受けているのか。

答 契約の相手先となる自動車販売業者は、高度管理医療機器等販売業の許可を受けている事業者であり、本契約に関しても支障はない。

教育民生委員会

《休日急患センター感染症対策事業》

問 今回の補正予算1,294万円での事業内容は、どのようなものか。また、実施はいつ頃を予定しているのか。

答 新型コロナウイルスの感染を防止するため、発熱患者のインフルエンザ検査を、休日急患センターの他の患者と分離して実施する。休日急患センターに隣接する市健康管理センター敷地内にプレハブあるいはテントを設置し、医師や看護師の増員を行う。また、実施の間はインフルエンザの流行期である本年12月から来年2月までの3か月間を予定している。

《修学旅行キャンセル料補助事業》

問 子どもたちの学校での1生の思い出ともなる修学旅行は、可能な限り実施していただきたいと望んでいるが、やむを得ず中止せざるを得なくなった場合、その判断はどが行うのか。また、統一した判断基準があるのか。

答 実施の有無については、行き先や期間など実施計画も含め、学校ごとに学校側と保護者の皆様と十分に協議、検討した上で最終決定することとしている。中止せざるを得なくなった場合、学校ごとに保護者の皆様の理解を得た上で決定することになる。また、教育委員会では、判断基準について、県内の感染レベルがレベル2やレベル3といった段階になった場合には、中止や延期も視野に検討してほしいと各学校に対し、お願いしている。

経済企業委員会

《失業者正規雇用緊急奨励事業》

問 コロナ禍の影響を受け、解雇による失業者が相当数増加していると考えるが、現在どのような状況となっているのか。また、この事業の周知に向けて、今後、市としてどのように取り組んでいくのか。

答 国が公表している新型コロナウイルス感染症に起因する福井県の解雇等見込み労働者数は9月4日時点で461人であり、5月29日時点の29人と比べると15倍以上の数となっていることから、今後も注意を要

する状況にあると認識している。事業の周知に当たっては、福井市企業情報紹介サイト「ふくいおしごとネット」を活用するほか、社会保険労務士会など関係団体への周知にも努めていく。

《福井市美山森林温泉みらくる亭の設置及び管理に関する条例の廃止》

問 平成30年度にサウディング型市場調査を実施し、民間の3事業者から提案を受けたとのことだが、現在のコロナ禍により、当時とは社会経済状況が異なっており、これらの事業者の中には経営的な打撃を受けているところもあるのではないかと考える。

答 このような中、今後始まる譲渡先事業者募集のプロポーザルに名乗りを上げてくる事業者があるのかを懸念するが、このことについてどのように考えているのか。

答 特に観光業がコロナ禍の影響を受けているため、サウディング型市場調査において提案した事業者全てに必ず参加してもらえないという担保はないものの、年数がたつと施設はさらに老朽化が進んでいくことから、できるだけ早期に募集し譲渡先を決定したい。

一般質問

当面する諸問題について市の考え方を質問するため、9月7日から9日までの3日間、22人の議員が一般質問を行いました。

※ 議員名の前の番号は質問順、()内は会派名、質問内容の掲載は大項目のみです。

<p>① 皆川 信正 (一真会)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策について 2 ハピリンの現状と課題について 3 施設マネジメントについて 4 豊地区のカラスふん害対策について 	<p>② 堀江 廣海 (一真会)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 新学校給食センター整備に関連することと後年度財政負担に関する市政への影響について 	<p>③ 堀川 秀樹 (市民クラブ)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 新型コロナウイルス感染症に対する福井市の取組について 2 災害発生時の避難所設置におけるレンタカー協会等各種協会や団体との災害協定締結について
<p>④ 加藤 貞信 (志政会)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 学校規模適正化について 2 福井市新学校給食センターの整備について 	<p>⑤ 菅生 敬一 (公明党)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 PCR検査の拡充について 2 デジタル・ガバメントについて 3 指定管理者制度について 4 障がい者の雇用と就職について 	<p>⑥ 泉 和弥 (新生ふくい)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 豪雨災害に対する備えについて 2 戦争の悲惨さと平和の尊さを後世に伝える活動について 3 アフターコロナと地域コミュニティについて
<p>⑦ 青木 幹雄 (一真会)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 中核市としての感染症対策について 2 連携中枢都市圏中心都市における感染症対策について 	<p>⑧ 村田 耕一 (市民クラブ)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 本市における福祉行政について 2 本市の農林水産業への支援策について 3 地方分権と地方の活性化に向けた取組について 4 本市の文化行政について 	<p>⑨ 石丸 浜夫 (志政会)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 学校規模適正化について 2 避難所設置について 3 漁港整備について 4 森林整備について
<p>⑩ 山田 文葉 (日本共産党)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 コロナ禍における学校教育について 2 高齢者施設におけるPCR検査の必要性について 3 水害対策と河川改修について 	<p>⑪ 近藤 實 (無所属)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 令和元年度普通会計決算状況について 2 令和2年度一般会計の収支見通しについて 3 人件費(期末手当)の削減について 4 がんばれ福井応援券について 5 コロナ禍における個人事業者・中小企業への経済対策について 6 水道事業会計の経常利益と水道料金減免について 7 下水道事業会計の経常利益について 8 下水道事業会計の一般会計繰入金について 9 福井市美術館の企画展と美術品の収集について 10 セーレンプラネットの今後の取組、経営について 	<p>⑫ 八田 一以 (一真会)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 福井市立地適正化計画の課題について
<p>⑬ 野嶋 祐記 (志政会)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の強化について 2 コロナ禍における市民生活の確保や経済対策について 	<p>⑭ 津田 かおり (公明党)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 児童・生徒1人1台の端末整備について 2 プラスチックごみの削減について 3 AYA世代のがん患者への支援について 4 中高年のひきこもり対策と「断らない」相談支援について 	<p>⑮ 岩佐 武彦 (一真会)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 新型コロナウイルス感染症患者の救急搬送について 2 福井市小中学校の学校規模及び配置の適正化について 3 地域の宝である文殊山、楨山、三峯山、城山の整備について
<p>⑯ 田中 義乃 (新生ふくい)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 観光復興について 2 新しい生活様式への対応について 	<p>⑰ 寺島 恭也 (一真会)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 未来のための今 これからのエネルギーと環境について 	<p>⑱ 福野 大輔 (一真会)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 特定業種に対するPCR検査について 2 新型コロナウイルス感染者に対する誹謗中傷について 3 キャッシュレス決済の推進について 4 オンライン・郵送で完結する行政手続の推進について
<p>⑲ 鈴木 正樹 (日本共産党)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 新型コロナウイルスの影響と対策について 2 コロナ禍における原発防災について 	<p>⑳ 榊原 光賀 (一真会)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 本市における無料Wi-Fi環境について 2 ふくいの農林水産物ECサイト開設事業について 3 ふくいの農林水産物魅力PR動画作成事業について 4 障がい者就労継続支援事業所について 	<p>㉑ 奥島 光晴 (新生ふくい)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 男女共同参画基本計画の現状と今後の展望について 2 コロナ禍における避難所開設について 3 コロナ禍における教育課題について
<p>㉒ 池上 優徳 (一真会)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 コロナ禍における対策について 		

一般質問要旨



みながわ のぶまさ
皆川 信正 議員
一真会

新型コロナウイルス対策の評価と職業技能訓練の場の確保について

質問

本市が行ってきた新型コロナウイルス対策について、どの程度市民に受け入れられたと考えているのか。市長の自己採点、自己評価はどうか。また、市研修センターで実施している職業技術訓練の場の確保は、どのようになっているのか。必ず、県立福井産業技術専門学院へ移転することができるのか。今後の目標は。

回答

あらゆる方法を用い、市長からのメッセージを発信したことや、福井市子育て世帯応援給付金などの対策により、一定の信頼と評価を得られたと考えている。また、技能技術者の育成や訓練等の取組は、市研修センター廃止後も必要であると考えているため、福井産業技術専門学院・福井人材開発センターを新たな活動拠点として、県や職業訓練団体と協議を進めており、令和3年4月の移転を目指して取り組んでいきたい。



ほりえ ひろみ
堀江 廣海 議員
一真会

**新学校給食センター整備に
関連することについて**

質問

新学校給食センターの設置にあたり、PFI手法を採用することと、PFI手法を採用するとのことであるが、地方債の起債制限の観点から見た本市財政の現状と、学校給食センター建設にPFI手法を採用することによる本市における財政面のメリットがあるのか。

回答

地方債の起債は、実質公債費比率により制限されるが、本市における実質公債費比率は、令和元年度決算で10・3%と起債が制限される基準を下回っている。また、従来方式で建設すると建設時にコストが集中するが、PFI方式では、設計業務や建設工事に加え、長期間にわたる維持管理や運営の業務を包括して契約することで、事業費を平準化でき、北陸新幹線福井開業に向けた事業などで財政支出が増える予想される中、財政面で大きなメリットがあると考えている。



ほりかわ ひでき
堀川 秀樹 議員
市民クラブ

**レンタカー業界との
災害協定について**

質問

レンタカー協会と災害協定を締結し、災害の際の避難において、プライバシーの保護や、コロナ禍の中での自己防衛に活用できるキャンピングカー等を借り受けてはどうか。キャンピングカーはトイレやシャワー等も完備し、避難に最適と考えるがどうか。

回答

レンタカー協会との協定については、本市と同規模の自治体の締結状況等について調査した上で、今後、検討していく。また、災害時の避難については、近隣自治体も同様の課題を抱えているため、ふくい嶺北連携中核都市圏においても併せて検討していく。



かとう さだのぶ
加藤 貞信 議員
志政会

学校再編について

質問

学校は地域交流の拠点である。学校規模適正化に伴い、学校の分割や統廃合が行われる場合、これまでどおり公民館活動等の地域活動を続けるべきと考えるが、ご所見は。

回答

また、森田小学校を2校に分割し、河合地区を含めた北部地域に中学校を新設してほしいという地区の要望に対するご所見は。今後、少子高齢化や人口減少が進行する中で、学校の分割や統廃合を行う場合も地区と学校とが一体となった地域活動に取り組む必要があると考える。今後地域コミュニティの拠点である公民館を中心に、地域、学校、家庭が連携し、再編前の学校の子どもたちが集まり、区民大会や地域住民との交流等を通して、心豊かに健やかに育まれる環境づくりに努める。また、中学期の新設については、河合地区も含めた北部地域の児童・生徒数、通学距離、建設場所等、総合的に検討する必要があると考える。



すごう けいいち
菅生 敬一 議員
公明党

手続・書類の簡素化について

質問

ある市では申請手続等における押印の見直しを図るため、2,000種類の手続を見直し、「署名」か「記名押印」を選択できるようにした。本市も押印の省略に取り組んではどうか。また、申請書等の書類の減量化にも取り組んでほしいと考えるがどうか。

回答

国の法令、県や市の定める条例、規則等で押印を義務づけている場合、押印は必須となるが、そのほかのものについては、担当部局が押印の要不要を判断している。先般の特別定額給付金の申請は、本人が申請する際は署名のみとするなど、臨機応変に対応している。市民の利便性向上につながるよう現状において可能な取組を整理しながら適宜進めたい。また、複数の手続を行う際に手続ごとに同様の情報を書類に記入するのは市民の負担となるため、住民票、戸籍及び印鑑証明書を複数請求する場合の申請書を1枚にまとめるなど、記入の負担軽減や書類の減量化を図りたい。

公民館の通信環境整備について



質問 最近、公民館でWeb会議等も行われるようになってきた。しかし、WiFi環境を整えても通信場所が限られるため、公民館のどの部屋でもインターネットを使用できる環境は整っていない。有線ケーブルの敷設や親機の増強、増設など、さらなる環境整備を進めてほしいが、ご所見は。

回答 全公民館にWiFi機器を設置しているが、構造上、無線電波が届かない部屋がある。このような部屋でインターネットを使ったパソコン教室等を行う時は、無線ルーターやLANケーブルを仮設しているが、通信速度不足により、スムーズに映像が流れないこともある。今後は、通信速度の高いプランへの変更やLANケーブルの敷設、WiFi中継器等を有効的に利用するなど、通信環境整備に努める。

感染症対策について



質問 中核市となり、保健所が当市に移管されたが、市民の安全・安心の確保は図られたか。また、コロナ禍の中、ふくい嶺北連携中核都市圏の中心都市として、他10市町とどのように連絡、協調しているのか。

回答 感染症対策の窓口である保健所が市にあることで、直接患者本人から同意を得て情報を収集し、より迅速な対応ができるようになった。速やかな予防対策の実施や感染拡大防止につながったと考える。また、圏内11市町の中で保健所を設置している自治体は本市のみであるため、他市町と直接連携することはないが、各市町を管轄する県保健所と連携を強化し、感染拡大防止に当たっている。このほか、ふくい嶺北連携中核都市圏ビジョンに基づく事業としては、コロナ禍においても各ワーキンググループで圏域市町との情報の共有を図り、取組を進めている。

本市の農林水産業への支援策について



質問 持続的に農林水産業を発展させるためには、担い手の確保と農林水産業で生活を維持できる体制づくりが必要である。新型コロナウイルス感染症の拡大により、雇用情勢が変化していく中、本市の農林水産業を発展させるため、どのように取り組むのか。

回答 解雇や雇い止めにより失業者が増え、雇用情勢が一段と厳しい状況となっている一方で、農林水産業においては、慢性的な人手不足となっていることから、これら就労機会を失った方に対して雇用の受皿になれるものと考えている。そのため、9月補正予算において、解雇や雇い止め等により職を失った方を採用した経営体に対し、賃金の一部を支援することで雇用機会を創出し、農林水産業における人手不足の解消に力を入れていく。

小・中学校の学校規模及び配置の適正化について



質問 学校規模適正化検討委員会の答申によれば、子どもたちの学びの環境としての適正規模、適正配置に焦点を当て、集団生活の中で互いに学び合い、高め合うことのできる学校規模が望ましいとのことであった。学校規模適正化には、財政的な課題があるのではないかと考えるが、市長の所見は。

回答 学校規模適正化の検討に当たっては、保護者や地域住民の協力と理解を得ながら進めることが重要であるというのが福井市総合教育会議での共通した認識である。現段階では、各地域での意見交換に向けた準備を進めているところであるが、今後、地域との話し合いを進める中で方向性が見えてくれば、事業化に向けた財政的な課題についてもしっかりと見定めていかなければならないと認識している。

学校の統廃合はコロナ収束後に地域住民と丁寧な話し合いを



質問 学校規模適正化検討委員会の答申で小・中学校の統廃合の案が出されたが、コロナ禍にあつては地域での話し合いは十分にできない。コロナ収束までは統廃合の取組をストップするべきではないか。

回答 本市としては、本年5月に学校規模適正化検討委員会の答申を受けたことから、コロナ禍の状況ではあるが、感染状況を踏まえながら、今後もできるだけ早く、保護者や各地区の方々に答申内容を説明し、まずは地区の方々の意見をしっかりと聞いていきたいと考えている。

※各議員の二次元コードをスマートフォンなどで読み取ると、一般質問の動画をご覧いただけます。



質問
セーレンプラネットの今後の取組、経営について

質問
番組制作費を3〜5倍増にする、光学式投影機を導入する、担当者、責任部署を変更し、情熱、企画力、実行力のある優秀な人材を投入する、この3点を改革すべきと考えるがどうか。

回答

番組制作購入費は、第1期指定管理期間の購入実績額約2,300万円に対して、次期の第2期指定管理期間では約780万円を上乗せしており、これまで以上に市と指定管理者が知恵を出し合い、魅力ある番組制作に努めていく。

現在のドームシアターへの光学式投影機の設置は、基本計画の見直しを行った上で、大規模改修が必要であり、多額の費用と相当の時間を要することから導入は難しいと考える。

担当者については適材適所の人員配置が行われていると認識している。責任部署についても、設立以来、宇宙・天文分野の教育推進を行ってきた自然史博物館が引き続き所管することが最も効果的であると考えている。



質問
福井市立地適正化計画の課題について

福井市立地適正化計画が課題と指摘する市中心部の都市機能誘導区域と居住誘導区域の地震や洪水、雨水対策は進展しているのか。また、中心市街地の空洞化・活力低下への対策として、第1次都市交通戦略は順調に進展してきたのか。

回答

建物の地震対策の進展としては、市全体の住宅の耐震化率が令和元年度末で85.4%となった。洪水対策では、底喰川での遊水地や調整池整備、河川改修等により浸水被害が軽減された。また、雨水対策では、雨水調整池の整備により、冠水範囲の縮小や冠水時間の短縮、浸水深の減少といった効果が得られている。

交通戦略に関しては、えちぜん鉄道と福井鉄道の相互乗り入れ、バス路線網の構築などにより、公共交通の利便性向上や利用促進に一定の効果があつた。特に中心市街地では、福井駅西口広場のバスターミナル整備、福井鉄道の福井駅延伸により交通結節機能を強化した。



質問
コロナ禍における市民生活の確保や経済対策について

休業要請に応じた事業者への中小企業休業等要請協力金の本市の状況はどうだったのか。

質問

また、7月に設立された福井飲食店衛生向上協議会では、独自に策定するガイドラインにより安心・安全を維持していくとのことだが、このような団体等への支援制度も必要と考えるがどうか。

回答

協力金の対象事業者は1,967件であり、休業が中小企業299件、個人事業主750件、営業時間の短縮が中小企業256件、個人事業主662件である。

中小企業者等の連携体が行う取組に対しては、中小企業団体等事業継続支援事業補助金による支援を行っており、片町・浜町の客足回復につながる取組など、各連携体において積極的な取組が進められている。



質問
児童・生徒1人1台の端末整備について

小・中学校における、児童・生徒1人1台の端末整備は、今年度末までに実現できるのか。また、その端末は家庭学習にも活用できるのか。

質問

回答

これまでに市が整備した端末と国が整備する端末に加え、令和2年度9月補正予算での購入分で、今年度中に児童・生徒1人1台の端末を整備することになる。

また、今回の整備は、学校内での利用を前提としており、家庭学習で使用するためには、各家庭のネットワーク環境ごとに設定を変更する必要があるが、学校で使用する端末をそのまま家庭に持ち帰って利用することは、すぐには難しいと考える。しかし、オンライン授業が可能となる整備を進めることも重要であるため、今後研究を進めていく。



質問
新型コロナウイルス感染症患者の救急搬送について

今や急病人だけでなく、交通事故に遭われた方や怪我をされた方の中にも新型コロナウイルス感染者がいることを疑わざるを得ない状況であると思われるが、救急搬送における感染防止対策はどのように行っているのか。

質問

回答

救急隊員は高性能マスク、フェースシールド、感染防止衣、手袋を装着して出勤している。また、傷病者のマスク着用や必要に応じて救急車内をビニールシートで覆うなど、飛沫による感染防止を図っている。

さらに、搬送後は車内をアルコール消毒するとともに、オゾン発生装置による滅菌処理も行い、二次感染防止の徹底を図っている。

観光復興について



たなか よしのり
田中 義乃 議員
新生ふくい

質問

新型コロナウイルスの感染拡大によって観光産業は大きなダメージを受けている。安心して観光が楽しめるよう、観光客や観光事業者においてはどのような対策が行われ、市はどのように指導しているのか。

回答

観光客に対してはマスクの着用やキャッシュレスの利用などの感染防止のための留意事項を啓発するポスターを市内全宿泊施設に掲示し、観光客自身の行動意識が高まるよう努めている。また、観光事業者に対しては各業界団体が作成した安全対策ガイドラインを通知し、それぞれの業態に応じた感染症対策の徹底をお願いしている。さらに宿泊施設や、タクシーや観光路線バスにおける安全対策の実施等に対する奨励事業を設け、感染対策等に取り組みんでいる。

未来のための今



てらしま きょうや
寺島 恭也 議員
一真会

質問

先日、市のイメージロゴ「福いいネー」が発表されたが、移住定住の推進に向けてどのように活用していくのか。

回答

新型コロナウイルス感染症が拡大する中、地方移住への関心が高まっており、全国で移住者の獲得を目指す動きが活発化している状況において、見た目のインパクトがある「福いいネー」の活用は効果的であり、移住の促進においても大変有効なツールであると考えている。今後、ロゴやキャッチフレーズを移住促進イベント等で活用するほか、移住関連サイトなどに動画を掲載することで視覚的に印象付け、関心を持っていただくことで本市への移住のきっかけとしていただく。加えて、市民や市内の企業などにも周知することで、福井のよさを再認識していただくとともに、その方たちからもどんどん発信していただき、市内外に福井のいいところを伝えていただければと考えている。

特定業種に対するPCR検査について



ふくの だいすけ
福野 大輔 議員
一真会

質問

東京都のように特定業種に対してPCR検査を積極的に推進することは、クラスターの発生抑制及び繁華街に対する安心感によって、にぎわいの取り戻しにつながるかと考えるが本市の考えは。

回答

特定業種における高頻度の検査は、検体の採取等により医療従事者の負担増加が懸念される。また、全国的に見てクラスターは繁華街の特定業種に限らず、多様なところで発生している。さらに、PCR検査の結果が陰性となったことで、感染防止対策がおろそかになることも危惧される。このようなことから、感染が疑われる方や医師が検査を必要と判断した方を積極的に検査し、拡大防止に努めている。なお、仮にクラスターが発生し、感染の広がりが懸念される場合には、対象範囲を拡大して検査を実施していく。

PCR検査の拡大、特に医療・介護施設での検査拡大を



すずき しょうじゅ
鈴木 正樹 議員
日本共産党

質問

国は、感染者が多数発生している地域においては、医療施設や高齢者施設での幅広いPCR検査（行政検査）の実施を可能としている。病院や介護施設での感染拡大を防ぐため、入院・入所される方や施設従事者への定期検査の実施を急ぐべきではないか。

回答

本市では現在、感染者をいち早く見つけるため、クラスターが発生した施設に関係する人など感染の可能性があるとところを中心に、対象者を拡大してPCR検査を実施している。また、国は新型コロナウイルス感染症に関する今後の取組として、検査体制を抜本的に拡充する方針を示しており、検査対象等の詳細について今後の国の動向を注視していく。

ふくいの農林水産物ECサイトについて



さかきばら みつよし
神原 光賀 議員
一真会

質問

新型コロナウイルス感染症拡大により、売上高が大幅に減少するなどの影響が生じている生産者を支援するため、ECサイトを開設し、その特性を生かした情報発信や販路開拓を行うとのことだが、どのような特色があるのか。

回答

開設するECサイトは、生産者の思いや生産過程等、消費者に安心・安全を与える情報を発信する生産者の顔が見えるものにする。また、ふくいの農林水産物の魅力PR動画を掲載し、農林水産物そのものの魅力だけでなく、生産に携わる人々や生産・加工などの作業風景、地元の調理方法など食に関わる様々な魅力を発信していく。



男女共同参画都市の今後の展望について

質問

テレワークやステイホーム等により夫婦が一緒に過ごす時間が増えた今こそ、男女がお互いを尊重し、喜びも責任も分かち合うことが重要と考える。全国に誇れる「男女共同参画都市」ふくい“の総合的な今後の展望について伺う。

回答

家族の在宅時間が増えたことで料理や育児を実践する男性も増えたと聞いている。この状況を好機と捉え、家庭内での女性の負担軽減や男性の家事・育児等への参画がさらに進むよう、引き続き意識啓発を図っていく。また、テレワーク等の新しい働き方の普及により、女性活躍の加速化が期待できるため、先進事例を企業へ周知し、定着に努める。今後も継続的な取組を行い、性別に関わりなく、個性と能力を發揮し、幸せを実感できる福井の実現を目指していく。



コロナ禍における対策について

質問

コロナ禍でも社会の機能を維持するため、また、子育て中の医師や看護師のため、保育所等では緊急事態宣言以降も感染予防を徹底しつつ保育を継続している。国の慰労金の対象外となった保育所等の全職員に対しても応援金など独自の支援を行うてはどうか。

回答

本市では、国の第2次補正予算に盛り込まれた新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金を活用し、感染症対策業務に伴う手当などを9月補正予算案に計上している。また、県においても9月定例会で保育士等に慰労金を支給する予算案を提出しているため、早急に支給されるよう、県と連携して周知等に努めていきたい。

予算特別委員会

各党派等における主な質疑内容を紹介します。

一真会

- 池上 優徳
- 寺島 恭也
- 岩佐 武彦
- 水島 秀晃
- 榊原 光賀

○再生可能エネルギー

問

現在、本市では一光地区の金毘羅山付近とその北側にある国見岳付近において風力発電所の建設計画が進められているが、現在の進捗状況はどのようになっているのか。

答

金毘羅山付近では、風車15基、発電出力最大6万3千kw規模の発電所を計画しており、環境影響評価法の手続きの第2段階である方法書を提出し、現地調査中である。

国見岳付近では、風車13基、発電出力最大5万kw規模と風車12基、発電出力最大5万1,600kw規模の2件の発電所を計画している。1件目は第2段階である方法書を提出し、現地調査中であり、2件目は第1段階である配慮書を提出している。

問

計画を進めていくためには林業関係者などの先行利用や地元住民との合意形成が必須になると考えるが、今後、市としてどのように進めていくのか。

答

国見岳で計画されている風力発電事業では、地域住民や農林業団体、設備事業者、学識経験者、市等で構成する協議会を設置しており、現在、2回目の協議に向け、地域活性化策等について、委員から意見を伺っているところである。この協議会を通じて地域との合意形成を図っていききたい。

○福井市観光振興計画

問

本年3月に策定された福井市観光振興計画では本市の観光の課題として、来訪者の訪問意欲をかき立てる観光地、いわゆるキラコンテツがないことなどが挙げられているが、この課題解決に向け、本市はどのように取り組んでいくのか。

答

福井市観光振興計画では、キラコンテツが多くある嶺北エリアを範囲とした広域観光を推進する「新エリアブランディング」と、本市の景観や食などを生かした写真映えする素材を創出し誘客につなげる「福井ジェニツク戦略」の2つを施策の柱に掲げている。

新エリアブランディングでは、全国に誇る一乗谷朝倉氏遺跡を含む日本遺産「福井・勝山 石がたり」の構成文化財を一体的に活用するなど、ふくい嶺北連携中枢都市圏の市町にある観光資源の魅力を発信し、誘客拡大につなげていきたいと考えている。2つ目の柱である福井ジェニツク戦略では、取組の一つとして本年7月から9月まで、色とりどりの和傘と風鈴を飾る和傘スカイを実施している一乗谷朝倉氏遺跡が、写真映えする場所として、SNSを通して話題となり、誘客につながっている。



※各議員の二次元コードをスマートフォンなどで読み取ると、一般質問の動画をご覧いただけます。

市民クラブ

堀川 秀樹 玉村 正人
酒井 良樹

○新学校給食センター整備

問 新施設における新型コロナウイルスウィルス感染防止対策はどのように考えているのか。

また、調理関係者が感染した場合、どのように対応するのか。

答 新たに整備する施設では、衛生管理に配慮した最新の設備を導入するとともに、本市教育委員会において作成した調理従事者向けの「学校給食における新型コロナウイルス感染症予防対策」や文部科学省の「学校給食衛生管理基準」に基づき、これまで以上に感染予防対策の徹底に努めていく。

万が一、給食センター職員が感染した場合は、保健所により濃厚接触者が特定され、給食センター内の消毒が完了するまでの3日程度、給食の提供を中止し、児童・生徒に弁当の持参をお願いすることとなる。

なお、調理関係者は衛生管理上、常時マスクを着用し、手指の消毒を徹底するため、給食センター内で感染が広がる可能性は低いと考えている。

志政会

石丸 浜夫 野嶋 祐記
藤田 諭

○福井市総合計画や各部署で策定する計画

問 総合計画の策定に当たっては議会の議決が必要であり、計画策定に向けた十分な審議時間が確保できないと考えるが、どのような策定スケジュールを想定しているのか。

答 次期総合計画は来年度には審議会を設置し、実施計画も含め令和3年度内の策定を予定しており、計画の策定に当たっては、来年内には議案を提案したいと考えている。また、計画の取組内容等が予算に反映されるよう、全庁的な連携を図りながら取り組んでいきたい。

要望 現総合計画の策定時には審議に1年以上を要したとのことだが、次期総合計画の策定に当たり、コロナ禍の影響による限られた時間の中で実施計画まで作るとなると、十分な審議ができるのかが危惧される。このことを十分に踏まえながらしっかりと議論した上で、議会に提案してほしい。

公明党

津田 かおり

○災害対策

問 避難所には細やかな女性目線を反映させた防災対策が重要であり、自主防災組織など防災分野への女性参加が必要と考えるが、本市としてはどのように取り組んでいくのか。

答 防災分野へ女性が参画する重要性は認識しており、本市の地域防災計画では、避難所の運営や自主防災組織の育成に際し、女性参加の促進に努めることとしている。

今後も、自主防災組織を対象としたリーダー研修会において女性役員の登用を呼びかけていくとともに、女性の防災意識の高揚を図るため、各地で開催している出前講座や研修会を通して、地域の防災活動への女性参加を啓発していく。

問 旧ジュニアグラウンドの売却による財産収入が今年度予算に計上されているが、予定どおりに見込めるのか。

また、売却後はどのように活用されると想定しているのか。

答 当該土地については最低売却価格を5億5,130万円に設定し入札を予定しているが、売却は十分見込めると考えている。

売却後の活用については、平成30年度に行ったサウナディング型市場調査において5者中4者に分譲住宅等に活用する意向があったため、売却後は宅地等での活用を見込んでいく。なお、売却に当たっては不動産鑑定を行っており、一般的な宅地面積に換算すると80軒程度の規模になると想定している。

ある中、市民の命を守るため昼夜を問わず、現場で奮闘している医療従事者や介護従事者への財政支援が必要ではないか。

答 医療機関への支援として、国は医療従事者等への慰労金を支給しており、本市においては、県の経営安定資金を利用する事業者への利子補給を行っている。また、介護施設への支援として、国は通所サービス事業所等における介護報酬算定の特例措置などを行っている。今後も国の動向を注視しながら、各種支援制度の周知を図るとともに、全国市長会等を通じて国や県に対し、さらなる支援の充実を要望していく。

無所属
近藤 實

日本共産党
山田 文葉

○医療・介護への支援

問 医療機関や介護施設では、コロナウィルス感染を恐れての受診控えなどがあり、施設によっては減収となり、職員の賞与等の減額を行ったところもある。感染リスクの

対策として、国は医療従事者等への慰労金を支給しており、本市においては、県の経営安定資金を利用する事業者への利子補給を行っている。また、介護施設への支援として、国は通所サービス事業所等における介護報酬算定の特例措置などを行っている。今後も国の動向を注視しながら、各種支援制度の周知を図るとともに、全国市長会等を通じて国や県に対し、さらなる支援の充実を要望していく。

○下水道事業会計への不適切な繰入金とその責任
26年度から平成30年度における一般会計繰入金の前算要求額は2億6,500万円だったが、このうち農業排水等の処理経費である1億2,900万円は予算要求すべきではなかった。不適切な予算要求が

ある中、市民の命を守るため昼夜を問わず、現場で奮闘している医療従事者や介護従事者への財政支援が必要ではないか。

○財産有効活用民間提案制度と市有地の売却

新生ふくい
泉 和弥

予算特別委員会の動画をご覧いただけます。



(9月16日)



(9月17日)

続いたことに対し、どのように考えているのか。また、過大に要求した繰入金は一般会計に返還すべきではないか。

答 積算額に一部誤りがあったことは遺憾であり、申し訳なく思っている。今後の予算編成においては、積算の正当性や妥当性の確認を徹底し、再発防止に取り組み。なお、過大に繰り入れた金額については精査を行い、適切な処理を行っていきたい。予算要求の内容が確認できる平成26年度以降の部分は一般会計に返還したいと考へている。

(9月定例会)

議案等の審議結果

議案番号	件名	審議結果		賛否が分かれた議案 (●印の賛否状況は15頁に掲載)
第 80 号議案	令和2年度福井市一般会計補正予算	9月24日	原案可決	●
第 81 号議案	令和2年度福井市中央卸売市場特別会計補正予算	〃	〃	
第 82 号議案	令和2年度福井市水道事業会計補正予算	〃	〃	
第 83 号議案	市長等の期末手当の特例に関する条例の制定について	〃	〃	
第 84 号議案	福井市市税賦課徴収条例等の一部改正について	〃	〃	
第 85 号議案	福井市美山森林温泉みらくる亭の設置及び管理に関する条例の廃止について	〃	〃	●
第 86 号議案	福井市文化会館の設置及び管理に関する条例及び福井市文化会館駐車場条例の廃止について	〃	〃	
第 87 号議案	財産の取得について (高規格救急車)	〃	〃	●
第 88 号議案	財産の取得について (化学消防ポンプ自動車Ⅰ型)	〃	〃	●
第 89 号議案	市道の路線の廃止について	〃	〃	
第 90 号議案	市道の路線の認定について	〃	〃	
第 91 号議案	令和2年度福井市一般会計補正予算	〃	〃	●
第 92 号議案	令和元年度福井市各会計歳入歳出決算の認定について	〃	継続審査	
第 93 号議案	令和元年度福井市下水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について	〃	〃	
第 94 号議案	令和元年度福井市ガス事業会計決算の認定について	〃	〃	
第 95 号議案	令和元年度福井市水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について	〃	〃	
第 96 号議案	令和元年度福井市簡易水道事業会計決算の認定について	〃	〃	
第 20 号報告	専決処分の承認を求めることについて(令和2年度福井市一般会計補正予算)	〃	承認	●
第 21 号報告	専決処分の承認を求めることについて(令和2年度福井市一般会計補正予算)	〃	〃	●
第 22 号報告	債権放棄の報告について	8月31日	受理	
第 23 号報告	公益財団法人福井市ふれあい公社の令和元年度決算に関する報告について	〃	〃	
第 24 号報告	公益財団法人福井市ふれあい公社の令和2年度事業計画等に関する報告について	〃	〃	
第 25 号報告	まちづくり福井株式会社の令和元年度決算に関する報告について	〃	〃	

議会日誌 (令和2年7～9月)

7月2日	福井駅周辺整備・道路・河川・下水道事業要望活動 (大阪府)
6日	福井坂井地区広域市町村圏事務組合議会 議会運営等懇話会 (あわら市)
	臨時福井県市町総合事務組合議会
29日	福井坂井地区広域市町村圏事務組合議会 議員全員協議会、第178回定例会 (あわら市)
	議会運営委員会
8月6日	福井県市議会議長会定期総会
18日	新型コロナウイルス等影響対策特別委員会
24日	議員全員協議会、議会運営委員会
25日	北信越市議会議長会理事会 (書面議決)
26日	福井県市議会議長会県要望活動

9月定例会

8月31日	本会議
9月1日	議会運営委員会
7日	本会議 (一般質問)
8日	本会議 (一般質問)
9日	本会議 (一般質問)
10日	総務委員会、建設委員会
11日	教育民生委員会、 経済企業委員会
16日	予算特別委員会
17日	予算特別委員会
18日	議会運営委員会
24日	議員全員協議会、本会議

編集後記

9月定例会は、新型コロナウイルス感染症対策で会期・質問者ともに縮小した6月定例会から一転し、十分な感染症対策を行い通常どおり開催しました。コロナ禍の中、災害時の避難所運営に関することやPCR検査体制、中小企業支援などを中心として、活発な議論が交わされました。

また、7月に発表された福井市をアピールするイメージロゴ「福いいネ！」を市議会としても応援するために、ロゴ入りのポロシャツを作製し、本会議などで着用しました。皆様とともに福井市を盛り上げていきたいと思えます。

(村田・酒井)

一般質問の録画映像をスマートフォンやタブレット端末でご覧いただけます。

一般質問ページにおいて、各議員の顔写真欄にある二次元コードをスマートフォンやタブレット端末から読み取ると、その議員の一般質問の動画がご覧いただけます。



請願・陳情等の提出について

請願・陳情などは、基本的にいつでも提出できますが、年4回(3・6・9・12月)開催される定例会で審議されますので、提出時期等詳細については事前に議会事務局へお問い合わせください。

傍聴してみませんか

傍聴できる会議

なお、本会議、予算特別委員会の模様は、ケーブルテレビのふくチャンネル121chで生中継及び録画放送されます。

本会議

定員97人 うち車イス6席

常任委員会

総務、建設、教育民生、経済企業

議会運営委員会

特別委員会

新型コロナウイルス等影響対策、予算

議員全員協議会

次回は
12月定例会
です

日程は
ホームページに
掲載します

傍聴をご希望される方へ

新型コロナウイルス感染症の予防及び拡大防止に向けて、一定の間隔を確保してご着席いただくため、当分の間、傍聴席への入場を下記のとおり制限させていただきます。

- ・議場：40人まで うち車イス4席 (本会議及び議員全員協議会など)
- ・各委員会室：2人まで (常任委員会など)

※議場は席によって温度差があるため、傍聴の際には温度調整ができるような服装でお越しいただくことをおすすめします。



市議会HPはこちらから



お問い合わせ

議会事務局 庶務課

0776-20-5506

福井市議会 日程

検索